

『90年代最高のサスペンス小説』『ヒステリーブレイキング絶賛!』

世界2200万部ベストセラー、完全映画化!

シムプルプラン

a simple plan

アカデミー賞を始め各国の映画祭で数々の栄誉に輝く…
ビル・バクストン ヒラリー・ボブ・オーンテン フリジット・フォーンダ サム・ライミ監督作品

原作『シムプルプラン』スティーヴン・キング著 (1996年刊行)
映画『シムプルプラン』は、キングの傑作小説『シムプルプラン』を原作としたサスペンス映画。監督は『シムプルプラン』の脚本家でもあるサム・ライミ。主演は『シムプルプラン』の原作にインスパイアされたビル・バクストン、ヒラリー・ボブ・オーンテン、フリジット・フォーンダ。本作は、キングの傑作小説『シムプルプラン』を原作としたサスペンス映画。監督は『シムプルプラン』の脚本家でもあるサム・ライミ。主演は『シムプルプラン』の原作にインスパイアされたビル・バクストン、ヒラリー・ボブ・オーンテン、フリジット・フォーンダ。

©1998 WARNER BROS. PICTURES INC. ALL RIGHTS RESERVED. TM & ©



始まりは彼女たち…
そしてみんな静かに狂います。

幸せになりたくて…誰もが踏みはずす、転落のワン・ステップ
『普通』の人がいちばん、怖い。

全米騒然のサスペンス——日本でも大反響！

見応え充分 / 物語は、タイトル通りにいたってシンプルだが、その奥行きは広く深く重い。平凡な日常に投げ入れられた“ほんの出来心”という小石が、猜疑心や打算を餌にふくれあがり、人をあっさり飲み込んでいく。欲望のめかるみに足を取られる主人公は、きっと私であり、あなたでもある。

●「奪取」で第50回日本推理作家協会賞 **真保裕一**さん(作家)

ラスト近く、死体の散乱する雪の中での主人公と兄のやりとりはなんともやるせなくて、私はいまでもまだ立ち直れません。たぶん、こういう映画を傑作というのでしょうか。

●「検索捜査」で第40回江戸川乱歩賞 **中嶋博行**さん(作家)

サム・ライミ版とも呼ぶべき「シンプル・プラン」は素晴らしい / 映画全編を覆う雪、雪、雪…ああ、全てを覆い隠すようなふりをしている、この慈悲深く冷たい雪さえ降ってなければ、主人公たちも人の道を踏み外すことはなかったろうに。

ミステリーマガジン10月号より

●「理由」で第120回直木賞 **宮部みゆき**さん(作家)



——愛する妻と、まともな仕事。ささやかな日々の幸せ……。それがハンク・ミッチェルにとってどれほどかけがえのないものだったか、まだその時の彼には分っていなかった。ある雪の日、ふとした事から、400万ドルを越える現金と死体をのせた墜落機を見つけたハンクと兄のジェイコブ、そして彼の友人ルー。何も危険がなく、誰にも害が及ばない事を自らに納得させ、3人はその金を保管し、いずれ自分たちで分けるためのごくシンプルな計画を立てる。だが、その時からハンクの悪夢は始まっていたのだった。そして妻のサラまでが……。

四者四様の状況の中で、待望の娘が誕生したサラにとってはまさに母の底知れぬ力が芽生えはじめ、次第にその渦の真中に大きな影を映してゆくのだった。始まりは単純にみえた事件はハンクの“ちょっとした思い付き(シンプル・プラン)”によって思わぬ方向へと転がり始め、ドミノ倒しのように、次々と事件を引き起こす。そして、狂い出した歯車は、人間の心の奥底に潜む欲望を容赦なく引きずりだし、驚愕のラストまで、一気に突き進む。

死ぬのは誰だ / 生き残るのは誰だ / 最後に400万ドル(5億円)を掴むのは——誰だ！



a simple plan

シンプル・プラン

ミュージアル・フィルム・カンパニー・AND丸紅 / 東宝東和ANDパラマウント映画提供 東北新社 / 東宝提供 東宝東和配給 ©1998 MARUBENI/TOHO TOWA

今秋ロードショー!

特別前売券好評発売中
(一般1600円/ペア券3000円^{税込})

有楽町・東宝映画街
日比谷みゆき座
03(3591)5357